3 Mars

BESIGN The Sustainable Design Schoolへの
協定留学（交換留学）
月例報告書2026（3月分）
留学先大学：
BESIGN The Sustainable Design School

Menton の町とカーニヴァルの様子

庭先に咲いた桜の花

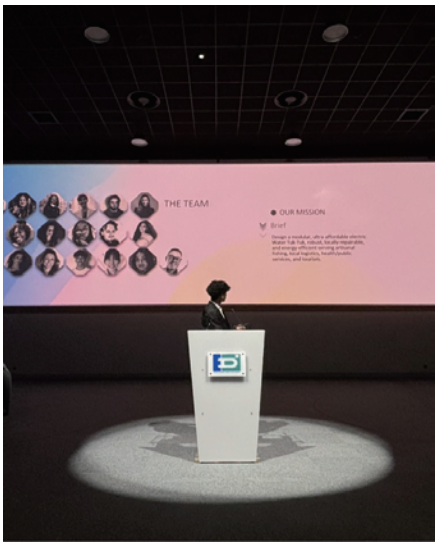
はじめに

春の風が吹き始め、新たな仲間との出会いに胸を躍らせる「留学第 2 章」が始まりました。新学期のスタートを控え、かつては憂鬱に感じた登校も、残された時間を思うと急に名残惜しく感じられます。もうすぐ日本に帰国し、家族や友人に会える楽しみがある一方で、ここでの生活が終わってしまう寂しさもある。そんな複雑で、愛おしい感情の中で日々を過ごしています。

Final presentation

2 月の学期末に予定されていた、前学期の企業パートナーシップの最終プレゼンテーションが、休暇明けにようやく行われました。会場は「Toyota Europe Design Development」。前期で帰国したチームリーダーを除くメンバー全員で参加し、無事にプロジェクトを締めくくることができました。

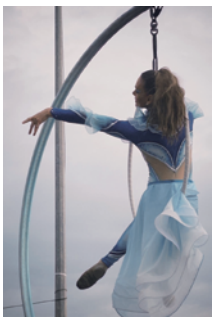
これまで学校内で発表する機会はありましたが、実際に企業のプレゼンテーション会場に足を運んで発表を行うのは今回が初めての経験で、独特の緊張感がありました。私自身は今回発表者ではありませんでしたが、チーム一丸となって取り組んだプロジェクトを最後まで見届けたことで、大きな達成感と満足感を得ることができました。パートナー企業であるトヨタからも高い評価をいただき、15 人という大所帯での活動に難しさを感じたこともありましたが、その分多くのことを学び、代えがたい経験となりました。



TOYOTA のプレゼン会場

Menton Lemon Festival

3 月の初めには、フランス南部のマントンで開催された「レモンフェスティバル」へ足を運びました。今学期から新しく来た留学生たちとも現地で合流し、賑やかな一日となりました。
今回は事前にチケットを購入してカーニバルエリアに入ったため、以前訪れたミモザフェスティバルよりも間近で山車を見ることができ、その迫力に圧倒されました。マントンならではのレモンを使ったアートスタイルは非常に見応えがあり、参加した甲斐があったと感じています。カーニバルの後は、美しいマントンの街を散策し、名物のレモン料理を堪能しました。街の雰囲気も非常に素敵だったので、ぜひまた訪れたい場所のひとつになりました。



Menton Lemon Festival

ニースの市場

近所のスーパー

フランスのサステナブルへの意識

ここでは、フランスで生活して感じた「サステナブル（持続可能性）への意識」について触れたいと思います。
私がサステナブル・デザインを専門とする学校に通っている影響もありますが、周囲の友人たちの意識の高さには日々驚かされます。彼らは自身のプロジェクトに必ずサステナブルな視点を取り入れており、中には「ファストファッションが環境に与える負荷」を考慮して、自分の服を自作したりアップサイクルしたりしている友人もいます。その徹底した姿勢には、心から尊敬の念を抱きます。

日常生活においても、環境への配慮が至るところに浸透しています。

スーパーマーケット：野菜や果物は個包装ではなく量り売りが主流で、必要な分だけを紙袋に入れて購入します。

ショップ：プラスチックの買い物袋を見かけることはほとんどなく、マイバッグを持参するか、生分解性の素材が使われています。

飲食店：ファストフード店でさえ、カトラリーは紙や木製。店内で飲食する場合、例えばマクドナルドのポテト容器などは、使い捨てではなく再利用可能な頑丈な素材に変更されています。

「そもそもゴミを出さない」という社会全体の努力と高い意識から、デザインを学ぶ学生として多くのインスピレーションを受けています。

今学期の目標

新学期が始まって早くも１ヶ月が経ちました。留学生活における時間の経過は驚くほど早く、だからこそ「なぜ自分はここに来たのか」という原点を定期的に振り返るようにしています。

前期の経験から得た反省を活かし、今学期は、「もっと自分の意見を主張し、自分で自分の背中を押すこと」を目標に掲げています。待っているだけでは何も変わらないこと、そして自分のアイデアに誇りと自信を持って提案することが、自身の成長には不可欠だと学んだからです。
自分の意見を提案する際、時には厳しい批評を受けることもあるかもしれません。しかし、自分自身が一番の理解者（サポーター）であり、周囲からの意見を単なる批判としてではなく、成長のための「栄養」として吸収できる強さを持ちたいと考えています。

フランス語の授業で訪れたマセナ美術館

終わりに

次回のレポート内容はまだ決まっていませんが、さらに深まった学びをお伝えできればと思います。どうぞ楽しみにしていてください。